

Press Release

2012 年 2 月 28 日

森精機 放射能防護プロセス認証を取得

昨年 3 月の福島第一原子力発電所における事故後、日本から輸出される製品に対して放射能汚染の懸念が寄せられるようになりました。こうした懸念を適切な放射能防護プロセスを導入することで一早く払拭し、世界各国のお客様に対し安心して製品をご提供すべく、弊社は伊賀事業所、奈良事業所第一・第二工場、千葉事業所および連結子会社である株式会社マグネスケール伊勢原事業所の計 5 箇所において放射能防護プロセスを導入し、テュフ ラインランド ジャパンより認証(Radiation Monitoring and Control Process by TÜV Rheinland)を取得しました。

テュフ ラインランドグループ(TÜV Rheinland Group、ドイツ ケルン市)は 設立 140 年、61 カ国に 500 の拠点をもつ世界でもトップクラスの第三者検査機関です。数十年に渡り、原子力の応用システムや関連する部材の適合性評価、放射能の防護および計測に至るまでの幅広い分野で活動しています。テュフ ラインランドグループには、チェルノブイリ原子力発電所の事故に関連した放射能の防護・計測の知見をもった専門家があり、福島第一原子力発電所の事故直後にはドイツ本社より来日し、2011 年 3 月より放射能汚染物質検査、ラボラトリーでの測定、放射能防護プロセス構築支援サービスを行っています。

「放射能防護」とは、製品や従業員、あるいは周囲の環境を放射能汚染の懸念から防護するためのコンセプトで、サプライチェーン上で必要と判断された工程に検査・管理プロセスを導入し、それを適切に維持していくものです。放射能防護プロセス認証は、こうした取組みをマネジメントと実際の管理数値の両面から評価し、予め設定された目標に対する適合性と妥当性を客観的に証明します。

弊社においては、欧州放射能情報緊急情報交換会 ECURIE(European Community Urgent Radiological Information Exchange)が定めるガイドライン(バックグラウンド値(*1)+0.2 μ Sv/h 以下)より更なる安全を考慮し、製品出荷前の放射線量測定を実施し、測定結果がバックグラウンド値(*2)+0.1 μ Sv/h 以下であることを出荷条件としました。(※1 自然界に存在する放射線量 ※2 定められた場所で定期的に測定した 0.1 μ Sv/h 以下の値)

この認証を取得することにより、放射能汚染のリスク管理を図るだけでなく、弊社の測定や管理の方法が適切であることが証明できます。今後は定期的に審査を受け、認証の効力を維持するべく努めてまいります。



認証書

認証書授与式(2012 年 1 月 19 日)

写真左より

テュフ ラインランド ジャパン株式会社 マーケティング部 執行役員 タチアナ・タラソフ 様

株式会社森精機製作所 常務取締役 品質本部本部長 高山 直士

株式会社森精機製作所 品質本部 ゼネラルマネージャー 廣 悟

テュフ ラインランド ジャパン株式会社 戦略部門 執行役員 ロベルト・ロレンツォーニ 様

テュフ ラインランド ジャパンホームページ: <http://www.tuv.com/jp/japan/home.jsp>